


2020年度中間期 会社説明会

2020年11月26日



・はじめに（プロフィール）	1		
【 I . 2020年度中間期決算概要】			【 II . 経営戦略】	
・損益概要	3	・中期経営計画「ALL for the Region」 13
・資金利益	5	・コロナ禍における取組み 14
・円貨貸出金利回り推移	6	・法人戦略 15
・有価証券	7	・個人戦略 16
・役務取引等利益	8	・デジタル化・Fintech 18
・経費	9	・地域社会活性化 19
・金融再生法開示債権・与信費用	10	～ESG/SDGsへの取組み～	
・自己資本比率・ROE	11	・グループ総合力の発揮 23
・業績予想	12		



ほくほくフィナンシャルグループSDGs宣言 (2019.4.1)

ほくほくフィナンシャルグループは、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」の経営理念のもと、国際連合が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえたCSR活動に積極的に取り組むことにより、地域経済、地域社会のSustainability（持続可能性）の向上を目指してまいります。

Public Private ACTION for Partnership!!
～SDGsで日本を元気に、世界を元気に
その主役はあなたです!～

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融機関グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

経営理念

- 地域共栄** : 社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
- 公正堅実** : 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
- 進取創造** : 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。



ほくほくフィナンシャルグループ

Hokuhoku Financial Group

設立 : 2003年
本店所在地 : 富山市
資本金 : 708億円
自己資本比率 : 9.32%
格付 : A (R&I)



北陸銀行

設立 : 1943年
(創業1877年)
本店所在地 : 富山市

店舗数 : 国内188(支店145・出張所43)
海外6

従業員数 : 2,506人
(在籍ベース)

資本金 : 1,404億円

自己資本比率 : 9.00%

格付 : A (R&I) ・ A- (S&P)



北海道銀行

設立 : 1951年

本店所在地 : 札幌市

店舗数 : 国内144(本支店136・出張所8)
海外3

従業員数 : 2,269人
(在籍ベース)

資本金 : 935億円

自己資本比率 : 9.06%

格付 : A (R&I)



I . 2020年度中間期 決算概要

損益概要(連結・2行合算)

・連結経常利益は、経費や与信費用の減少を主因に前中間期比7億円増加の181億円、連結中間純利益は前中間期比13億円増加の130億円になりました。

2020/9期 損益

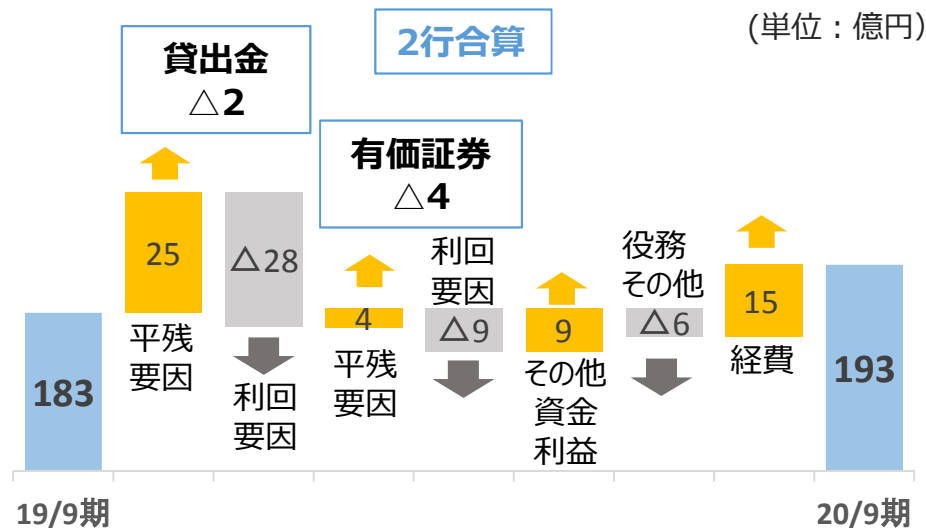
【ほくほくFG連結】	【億円】			
	業績 予想	実績	前中間 期比	業績 予想比
経常利益	180	181	7	1
親会社株主に帰属する中間純利益	130	130	13	0

※連結業績予想は、2020年10月22日に修正しております。

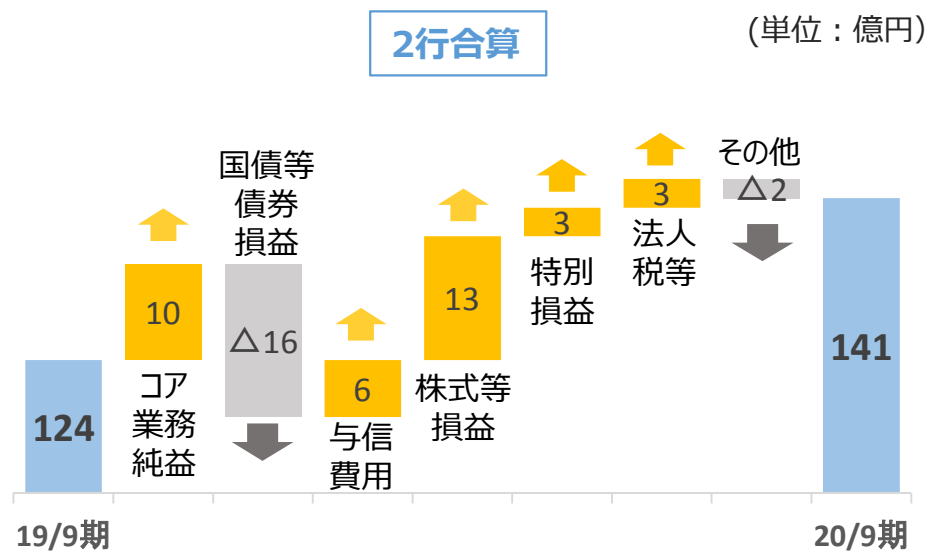
【2行合算】	【億円】			
	業績 予想	実績	前中間 期比	業績 予想比
コア業務粗利益	600	609	△ 4	9
資金利益		529	1	
うち貸出金利息		418	△ 2	
うち有価証券利息		112	△ 4	
役務取引等利益		73	△ 6	
特定取引利益		0	0	
その他業務利益(国債等債券損益を除く)		5	0	
経費 (△) (臨時処理分を除く)	430	415	△ 15	△ 14
コア業務純益	170	193	10	23
(投資信託解約損益を除く)		179	9	
国債等債券損益		21	△ 16	
実質業務純益 (※)		215	△ 5	
一般貸倒引当金繰入 (△)		9	△ 2	
臨時損益		△ 18	13	
うち不良債権処理額 (△)		35	△ 4	
うち株式等損益		18	13	
経常利益	135	187	9	52
特別損益		△ 3	3	
法人税等 (△)		42	△ 3	
中間純利益	95	141	16	46
(参考)与信費用 (△)	55	44	△ 6	△ 10

※実質業務純益…「業務純益(一般貸倒引当金繰入前)」と同義

コア業務純益 増減要因



中間純利益 増減要因



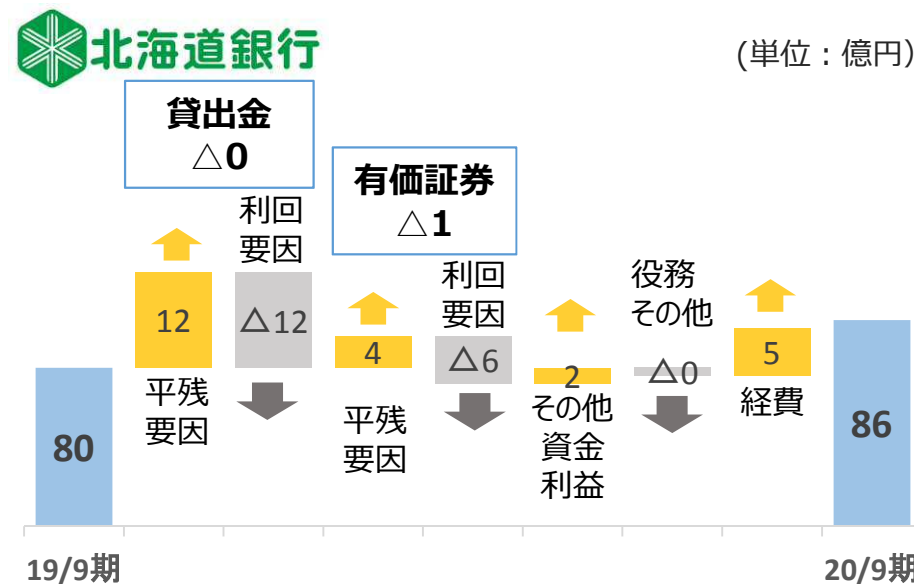
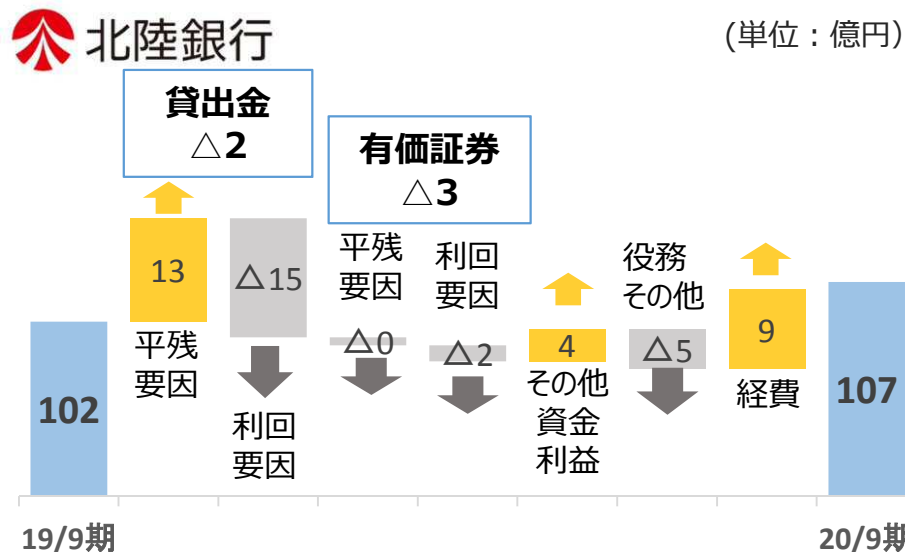
2020/9期 損益

(億円)

	北陸		北海道	
		前中間期比		前中間期比
コア業務粗利益	329	△ 4	280	△ 0
資金利益	277	0	252	0
うち貸出金利息	212	△ 2	206	△ 0
うち有価証券利息	67	△ 3	44	△ 1
役務取引等利益	47	△ 4	26	△ 2
特定取引利益	0	0	-	-
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	3	△ 0	2	1
経費(△) (臨時処理分を除く)	221	△ 9	193	△ 5
人件費	110	△ 4	87	△ 2
物件費	93	△ 5	90	△ 3
税金	17	0	15	0
コア業務純益	107	4	86	5
(投資信託解約損益を除く)	98	2	81	7
国債等債券損益	18	△ 6	3	△ 9
実質業務純益(※)	125	△ 2	89	△ 3
一般貸倒引当金繰入(△)	8	△ 2	1	0
臨時損益	△ 10	7	△ 8	5
うち不良債権処理額(△)	25	△ 6	9	2
うち株式等損益	12	8	5	4
経常利益	106	7	80	1
特別損益	△ 3	3	△ 0	0
法人税等(△)	19	△ 7	22	3
中間純利益	84	18	57	△ 1
(参考)与信費用(△)	33	△ 8	10	2

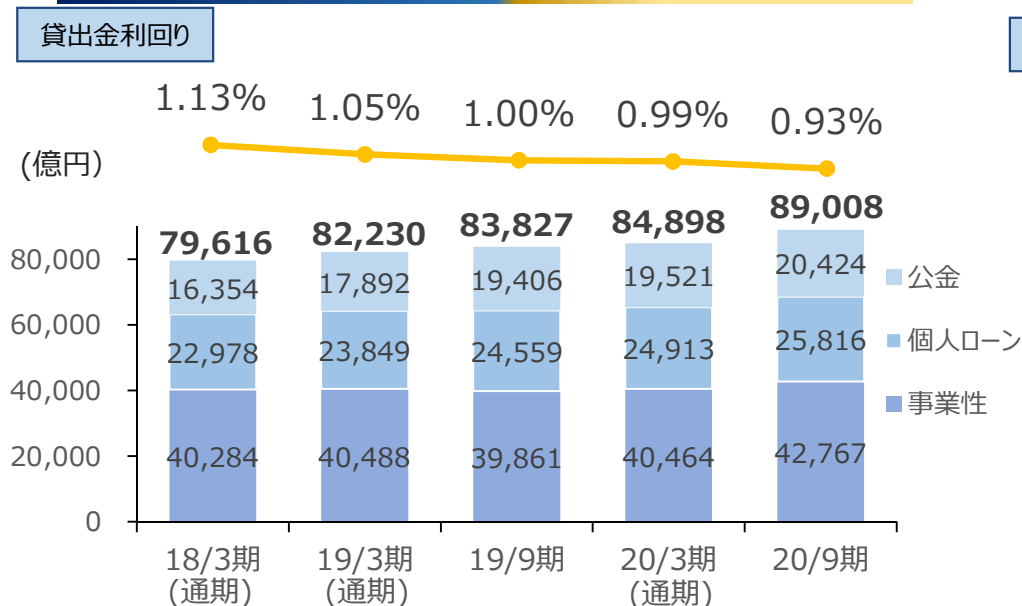
※実質業務純益…「業務純益(一般貸倒引当金繰入前)」と同義

コア業務純益 増減要因

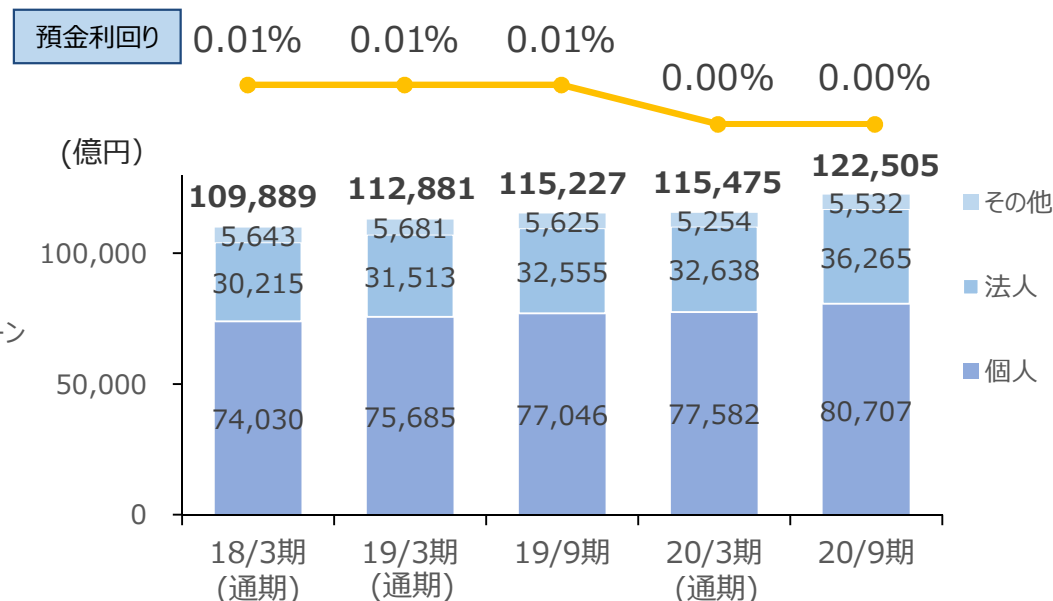


・2行合算の資金利益は、事業性貸出・個人ローン残高の積み上げにより、前中間期比1億円増加の529億円となりました。

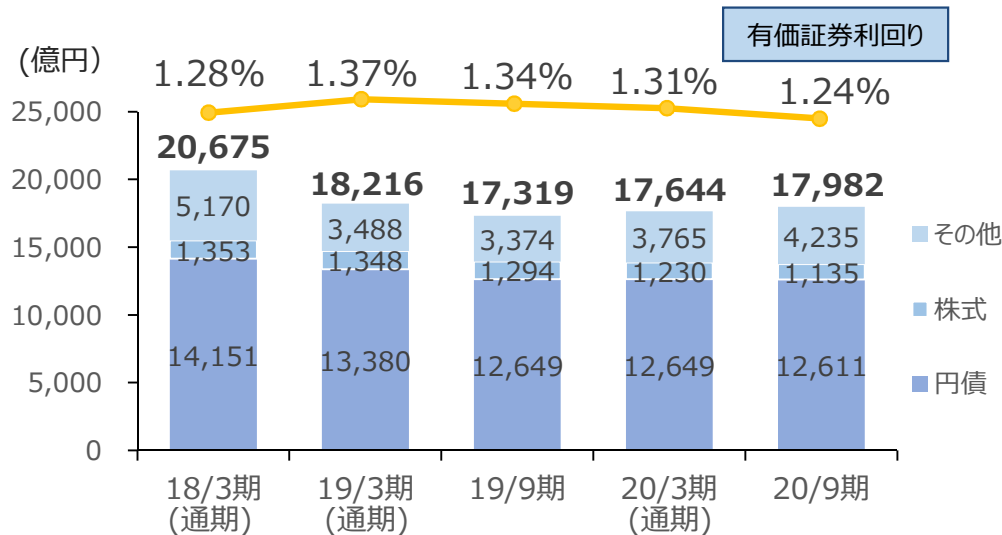
貸出金平残・利回り推移



預金平残・利回り推移



有価証券平残・利回り推移

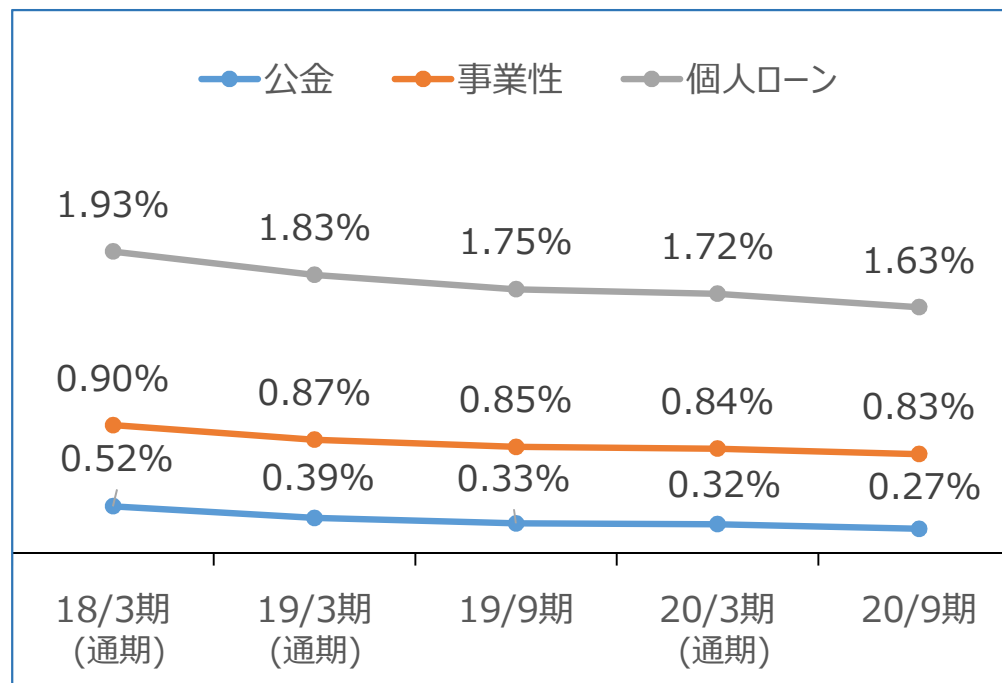
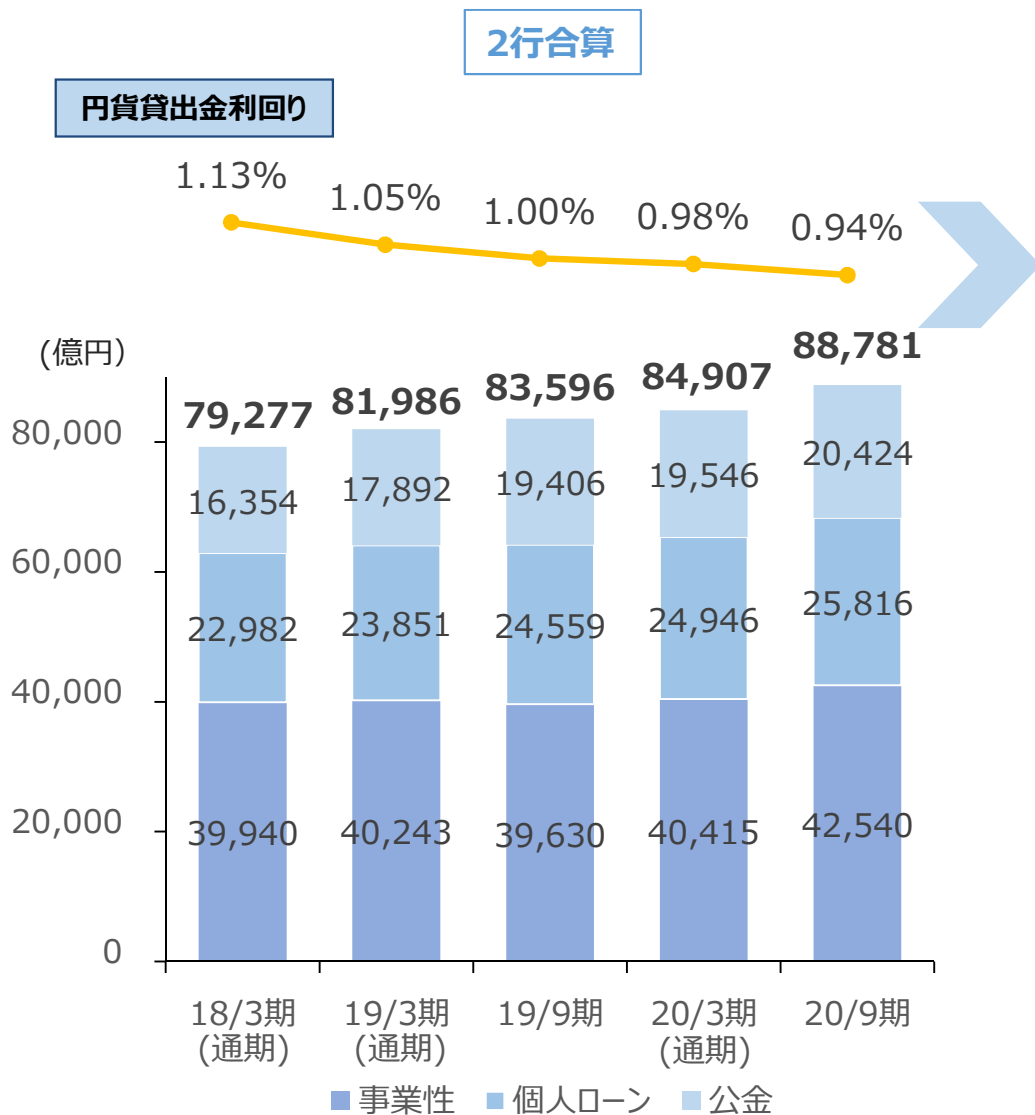


資金利益

	2行合算		北陸		北海道	
	20/9期	前中間期比	20/9期	前中間期比	20/9期	前中間期比
資金利益	529	1	277	0	252	0
うち貸出金利息	418	△ 2	212	△ 2	206	△ 0
貸出金平残	89,008	5,181	50,351	2,982	38,656	2,198
利回り	0.93%	△0.07%	0.84%	△0.06%	1.06%	△0.07%
うち預金利息 (△)	3	△ 2	2	△ 1	1	△ 0
預金平残	122,505	7,278	70,500	3,981	52,005	3,297
利回り	0.00%	△0.01%	0.00%	△0.01%	0.00%	0.00%
うち有価証券利息	112	△ 4	67	△ 3	44	△ 1
有価証券平残	17,982	663	10,865	△ 69	7,117	732
利回り	1.24%	△0.10%	1.24%	△0.05%	1.23%	△0.20%
【参考】外貨調達コスト(△)	3	△ 7	2	△ 5	0	△ 2

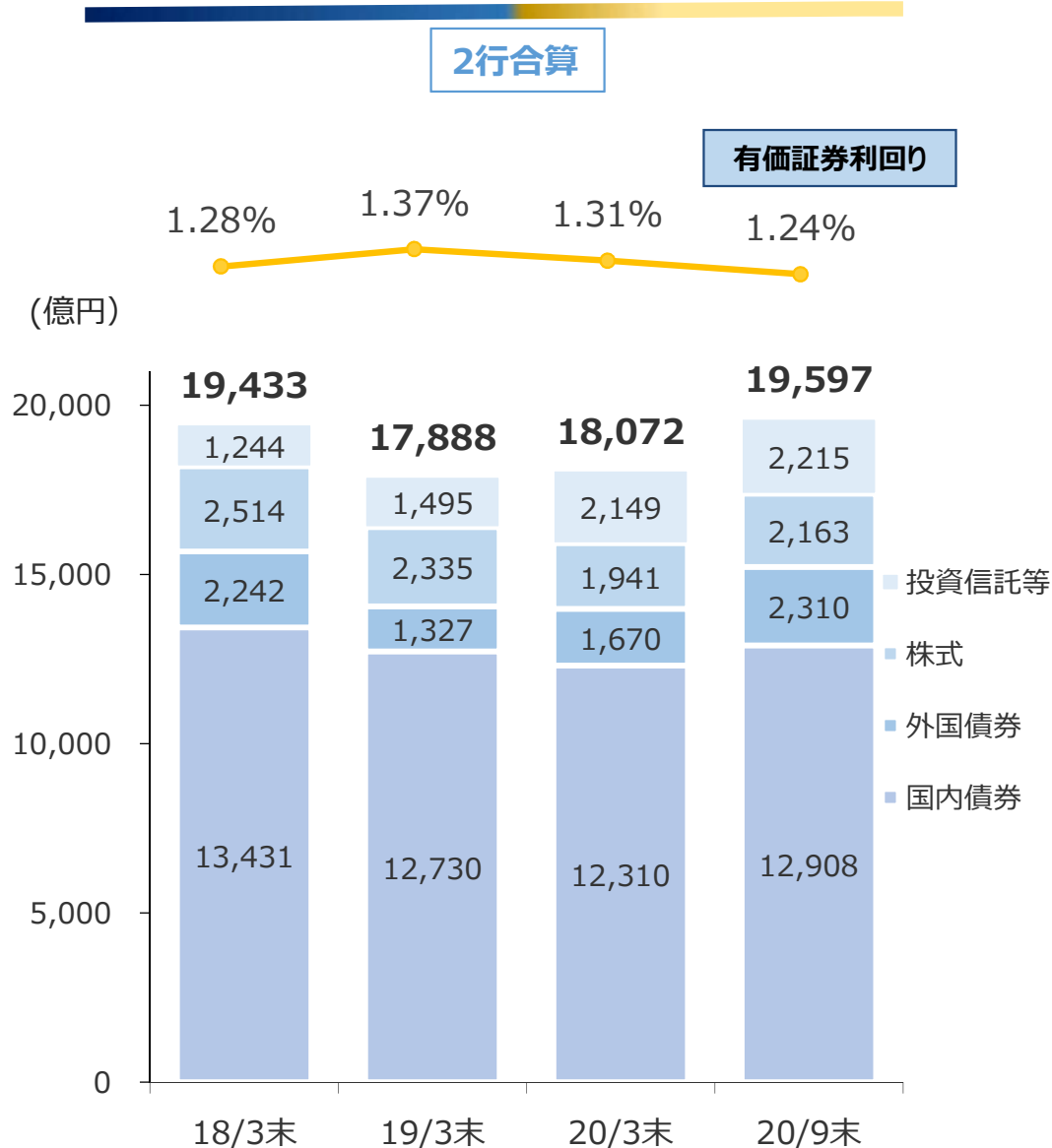
・事業性貸出金を中心に、利回りの低下幅は徐々に縮小しつつあります。

円貨貸出金平残・利回り推移 (内部管理ベース)



・有価証券残高は、外国証券や地方債を中心に増加し、2行合算で前期末比1,525億円増加の1兆9,597億円となりました。評価損益は、株式の評価益増加により、2行合算で前期末比360億円増加の1,127億円となりました。

有価証券残高（末残）



有価証券損益・評価損益

2行合算 (億円)

	20/9期	増減額	19/9期
有価証券利息	112	△ 4	116
円債	31	△ 10	42
株式	29	1	28
その他	50	3	46
【参考】外貨調達コスト (△)	3	△ 7	11
有価証券の売買損益	39	△ 2	42
国債等債券損益	21	△ 16	37
株式等損益	18	13	4
	20/9期	増減額	20/3期
その他有価証券の評価損益	1,127	360	767
債券	53	△ 14	67
株式	1,050	302	748
その他	23	72	△ 48

円債デュレーション

2行合算

18/3末	19/3末	20/3末	20/9末
3.08年	3.08年	4.46年	5.02年

※ヘッジ考慮後

・対面営業の制約などの影響もあり、投信・保険販売手数料などが減少し、前中間期比6億円減少の73億円の実績となりました。

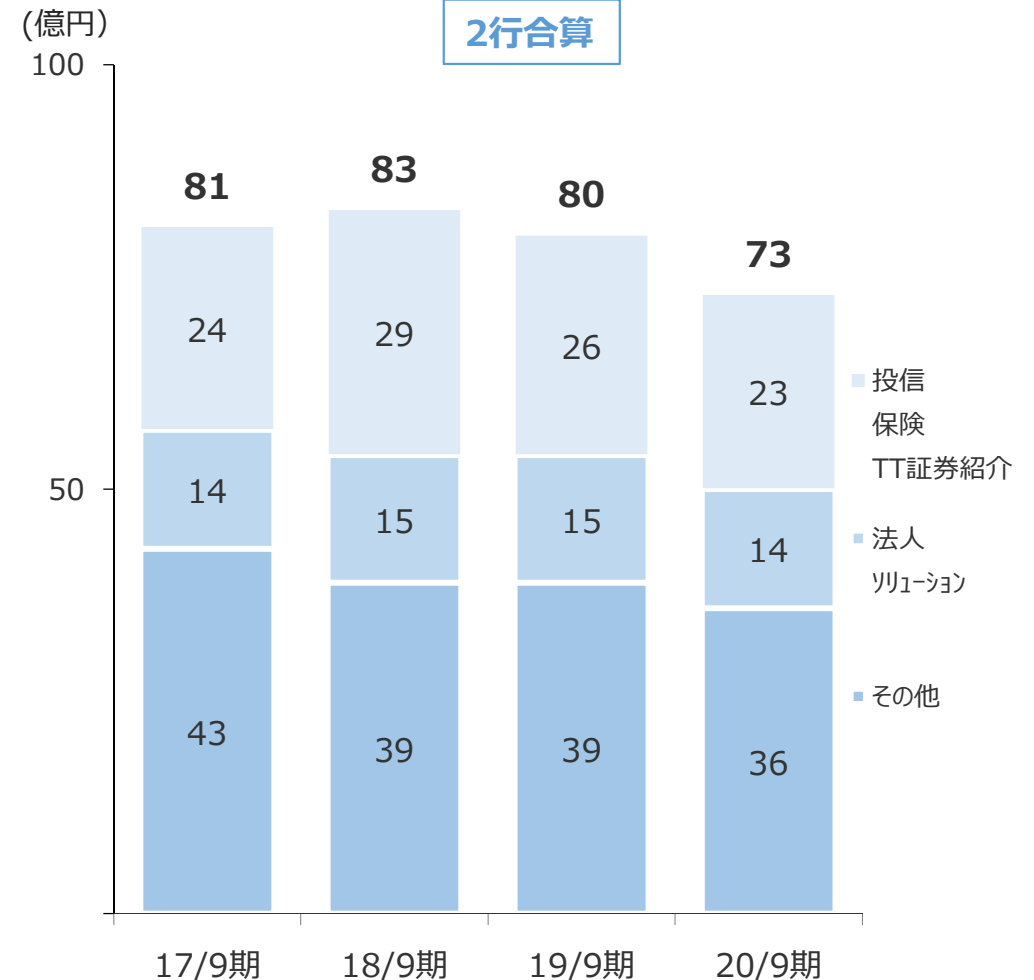
非金利収入

2行合算

	20/9期		19/9期
		増減額	
(1) 役務取引等利益	73	△ 6	80
役務取引等収益	160	△ 6	166
うち受入為替手数料	51	△ 1	53
うち投信・保険手数料	21	△ 2	24
うちほくほくTT証券紹介手数料	1	0	1
うち法人ソリューション (※)	14	△ 0	15
私募債・シンジケートローン	7	△ 1	8
M&A、事業承継、その他コンサル	3	△ 0	4
ビジネスマッチング	2	0	2
役務取引等費用 (△)	86	0	86
うち支払為替手数料 (△)	9	△ 0	9
うちローン保険料・保証料 (△)	63	2	60
(2) 特定取引利益	0	0	0
(3) その他業務利益 (除く5勘定戻)	5	0	4
うち外為売買損益	4	△ 0	4
(4) 非金利収入計 (1) + (2) + (3)	79	△ 6	85
(5) コア業務粗利益	609	△ 4	613
(6) 非金利収入比率 (4) / (5) (%)	13.03	△ 0.88	13.91

役務取引等利益

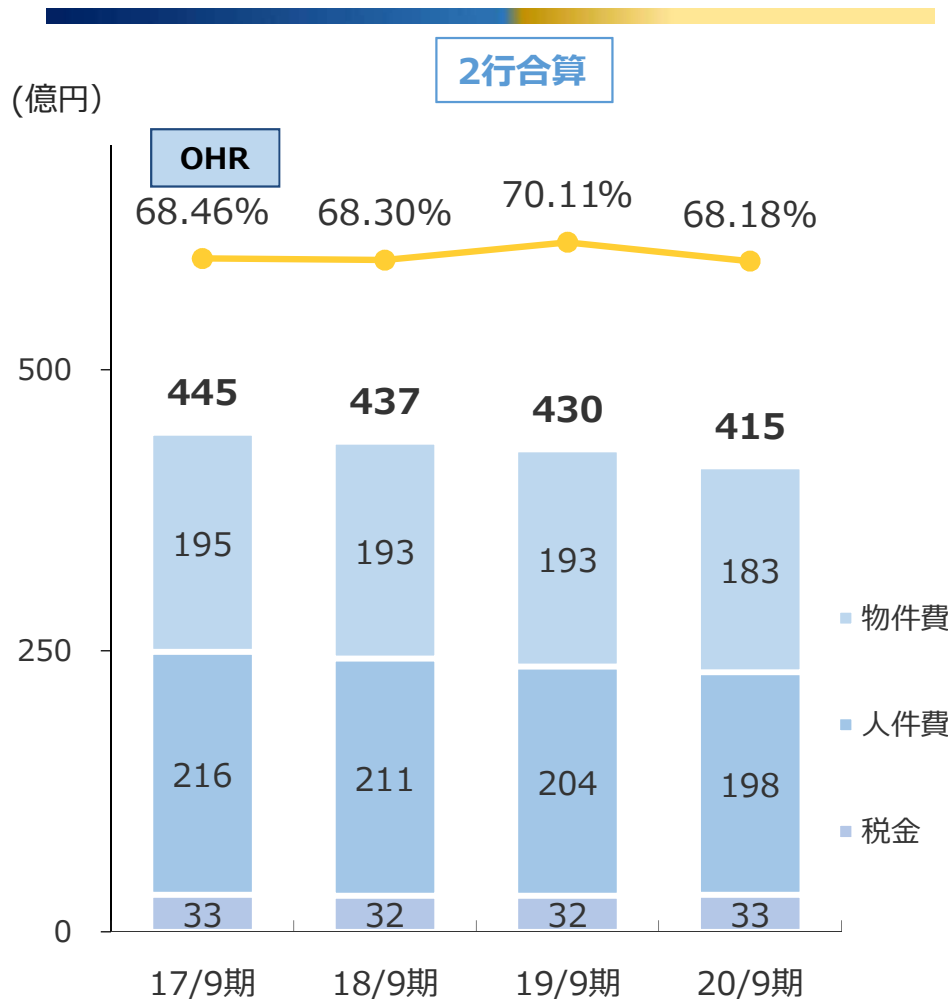
2行合算



※法人ソリューション…私募債、シンジケートローン、コンサル (M&A、事業承継など)、ビジネスマッチングに関する手数料

経費は、業務の効率化・集中化、互換性の向上等の取組みを通じた人件費減少などにより、前中間期比15億円減少の415億円となりました。

経費・OHR



経費内訳

(億円)

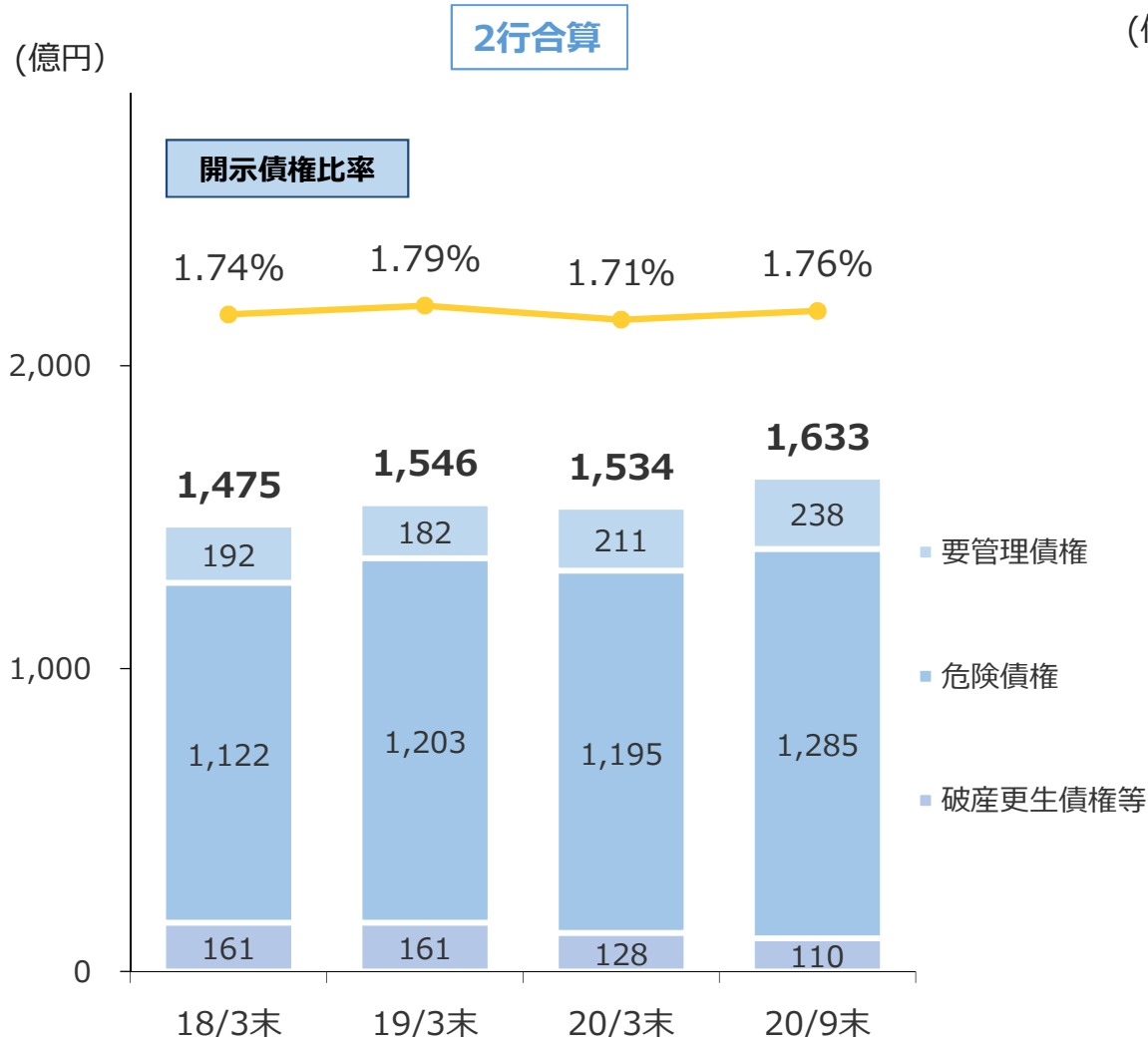
北陸銀行	20/9期	増減額	19/9期
	人件費		110
物件費	93	△ 5	98
機械化関連費用	35	△ 1	37
税金	17	0	17
経費	221	△ 9	230

(億円)

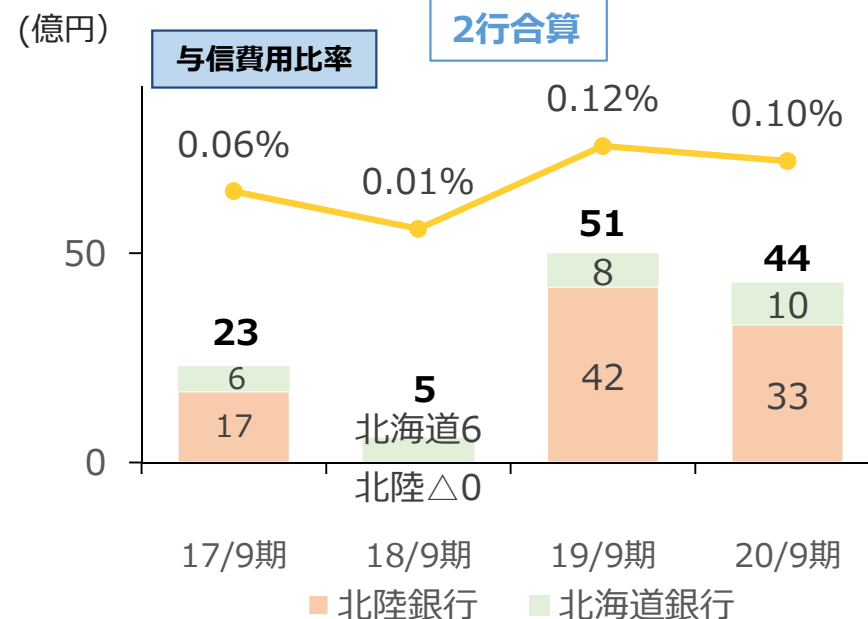
北海道銀行	20/9期	増減額	19/9期
	人件費		87
物件費	90	△ 3	94
機械化関連費用	32	0	32
税金	15	0	15
経費	193	△ 5	199

- ・金融再生法開示債権は、危険債権および要管理債権の増加により前年度末比98億円増加の1,633億円となりました。
- ・与信費用は、前中間期比6億円減少、期初予想を10億円下回る44億円となりました。

金融再生法開示債権



与信費用



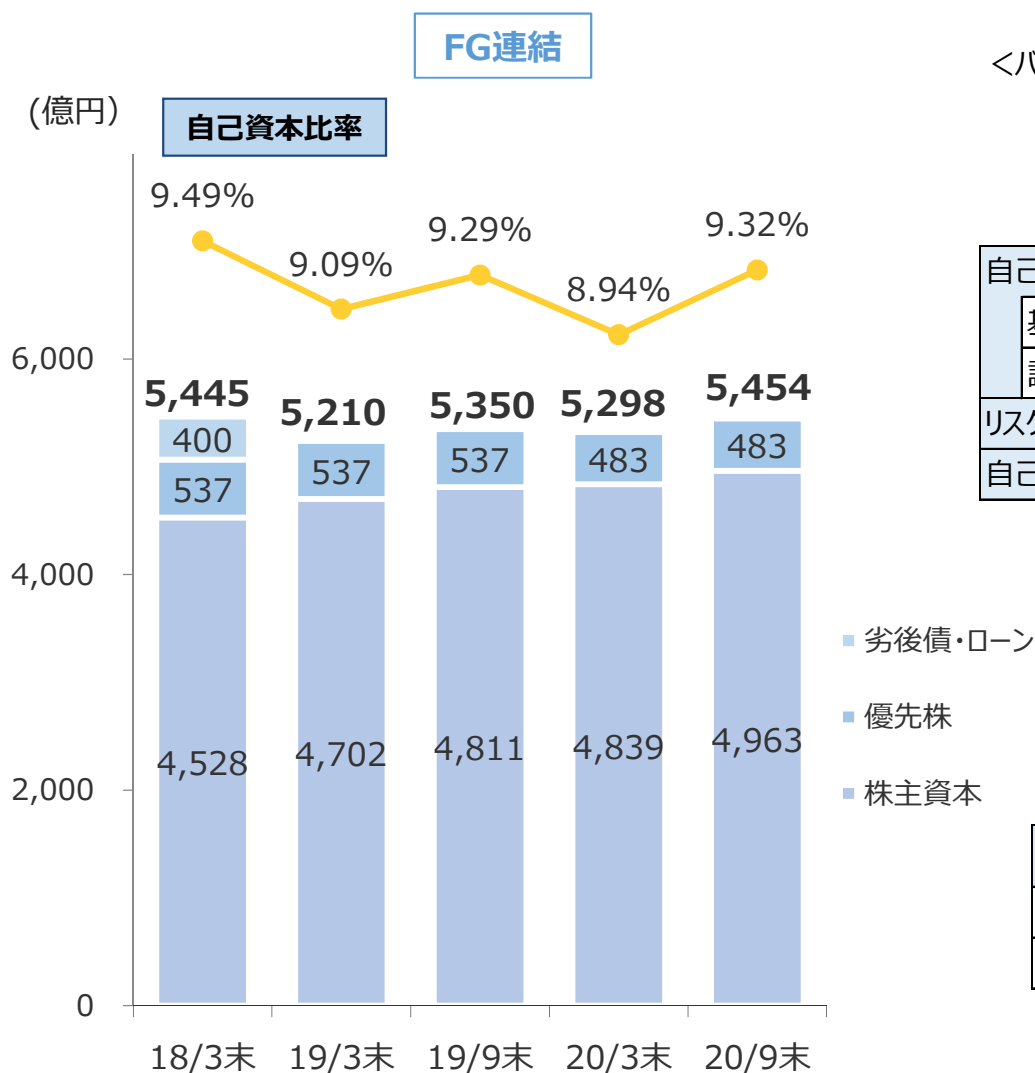
与信費用要因

(億円)

	20/9期	増減額	19/9期
与信費用	44	△ 6	51
うち一般貸倒引当金繰入	9	△ 2	11
うち個別貸倒引当金繰入	34	△ 4	38

自己資本比率は、利益剰余金の積上げによる自己資本の増加およびリスクアセットの減少により、前期末比0.38ポイント上昇の9.32%となりました。

連結自己資本比率



※2020年10月1日に優先株の一部53.7億円の償還を実施しております。

自己資本・リスクアセット

<バーゼルⅢ国内基準> FG連結 (億円)

	経過措置適用			完全実施(試算)		
	20/9末	増減額	20/3末	20/9末	増減額	20/3末
自己資本	5,454	156	5,298	4,930	155	4,774
基礎項目	5,584	137	5,447	5,060	137	4,923
調整項目(△)	130	△18	148	130	△18	148
リスクアセット	58,481	△751	59,232	58,348	△749	59,098
自己資本比率	9.32%	0.38%	8.94%	8.45%	0.38%	8.07%

ROE

	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	20/9
連結	5.3%	5.1%	3.6%	4.0%	3.4%	4.6%
2行合算	5.9%	5.7%	4.4%	4.9%	3.9%	5.2%

2021年3月期 通期業績予想

FG連結

(億円)

	21/3期	前期比
	業績予想	
経常利益	260	△ 56
当期純利益 (※)	165	△ 37

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

(億円)

【2行合算】

【北陸銀行】

【北海道銀行】

	【2行合算】		【北陸銀行】		【北海道銀行】	
	21/3期 予想	前期比	21/3期 予想	前期比	21/3期 予想	前期比
コア業務粗利益	1,210	△ 22	645	△ 23	565	1
経費 (△)	855	1	455	△ 2	400	3
コア業務純益	355	△ 23	190	△ 21	165	△ 2
与信費用 (△)	120	0	70	△ 22	50	22
経常利益	270	△ 44	155	△ 22	115	△ 22
当期純利益	180	△ 28	100	△ 12	80	△ 15

2021年3月期 配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	35円00銭	35円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

(参考) 配当推移

(円)

16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 予想
42.50	44.00	44.00	44.00	40.00	35.00

 2016年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しています。
 (上記の配当実績は過年度と比較のため「併合後の1株当たりの配当金額」としています。)

(参考) 当期純利益推移

(億円)

16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 予想
288	281	211	243	202	165

(参考) 配当性向

(%)

16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 予想
20.9	21.9	29.4	25.4	28.0	30.3

Ⅱ. 経営戦略

中期経営計画(2020/3期～2022/3期)

目指す姿

位置付け

当社グループ全役職員が、「Face to Faceのお客さまに寄り添ったサービス」と、「利便性を追求したデジタル金融サービス」の両面で進化し、持続的に地域に貢献する体制構築に取り組む期間

基本方針

- 「地域社会発展への貢献」
- 「未来への進化・変革」
- 「グループ総合力の発揮」

共通 価値の創造

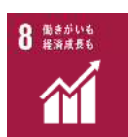
地域No.1の金融サービスの提供によりお客さまと地域社会に貢献することで、共通価値を創造し、地域と共に成長・発展する総合金融グループ

重点指標

項目	2019/9期(実績)	2020/9期(実績)	前中間期比
本業利益(2行合算)*	78億円	85億円	+7億円
中間純利益(連結)	116億円	130億円	+13億円
自己資本比率(連結)	9.29%	9.32%	+0.03%
コア業務粗利益ベースOHR(2行合算)	70.11%	68.18%	△1.93%

*「コア業務純益－有価証券利息損益(外貨調達コスト除くネット損益)」にて算出

コロナ禍における取組み



お客さま支援の取組み

- 「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う融資相談窓口」の設置
- 「休日電話窓口」の設置
- オンラインツールを活用した面談
- 各種オンラインセミナーの開催
- 非対面サービスの拡充・改善
- ゴールデンウィーク期間中における休日相談窓口の設置

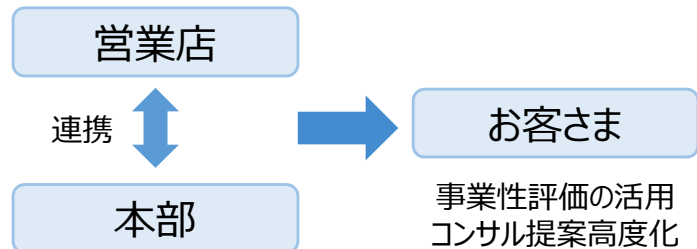


感染拡大防止に向けた取組み

- タブレットPCを活用したテレワークの実施
- スプリットオペレーションの実施
- 時差出勤の活用
- オンライン会議の活用
- 飛沫防止パーテーションの設置



新型コロナウイルス関連融資状況

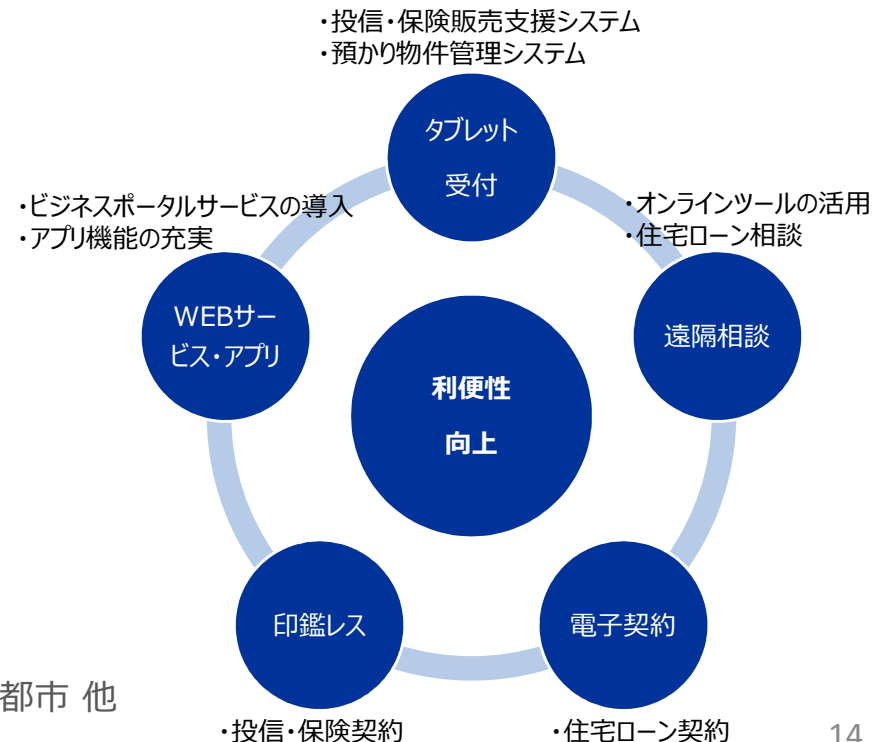


各種支援の実施

- ・事業計画策定支援
- ・各種経営コンサル
- ・ファンドの活用 等

デジタルトランスフォーメーションの推進

対面取引のデジタル化と非対面取引の利便性向上により、新生活様式へ対応

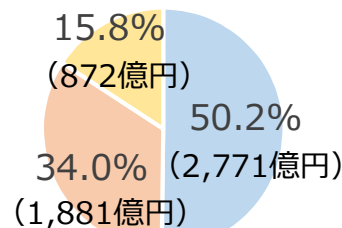


【新型コロナウイルス関連融資状況】

	件数	融資額
2行合算	16,599件	5,525億円
北陸銀行	10,099件	3,261億円
北海道銀行	6,500件	2,263億円

※2020年2月～9月末の累計

エリア別実行金額割合

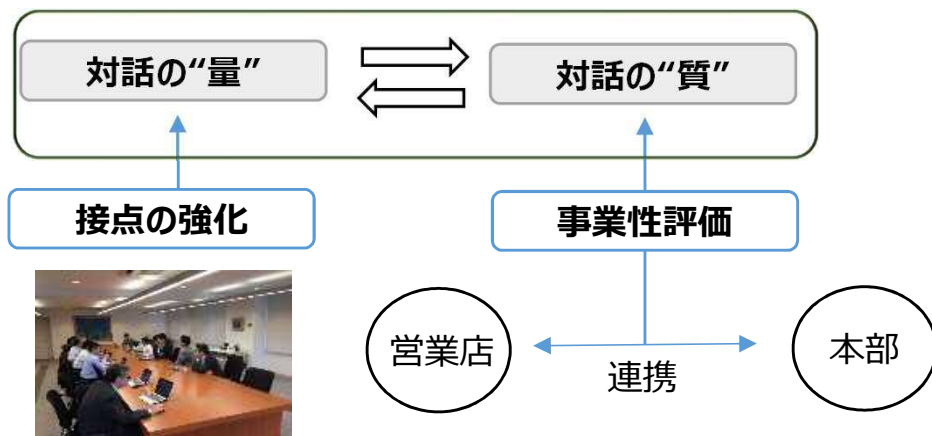


■ 北海道地区 ■ 北陸地区 ■ 3大都市 他

企業の経営課題やライフステージに応じた最適なソリューション提供

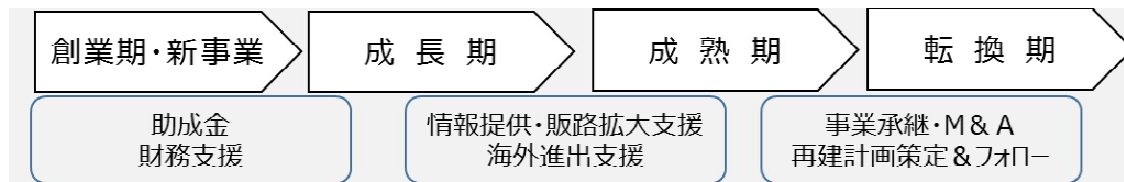
■ 事業性評価への取り組み

接点強化による対話の「量」を増やすことに加え、事業性評価の「質」の向上によりお客さまへの最適なソリューションを提供。



■ ソリューション提供

事業承継・M&Aなどソリューション提案力強化に向けた体制の強化
2020/9期M&Aアドバイザー契約 締結件数66件（前年同期比+6件）

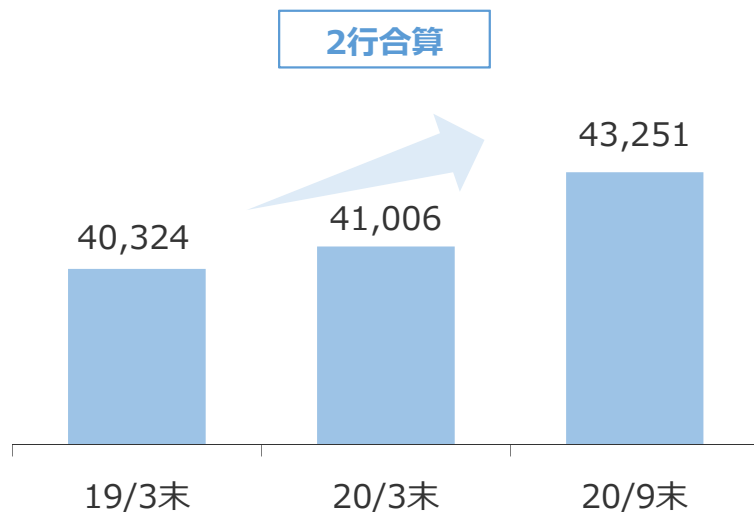


■ 非対面サービスの充実

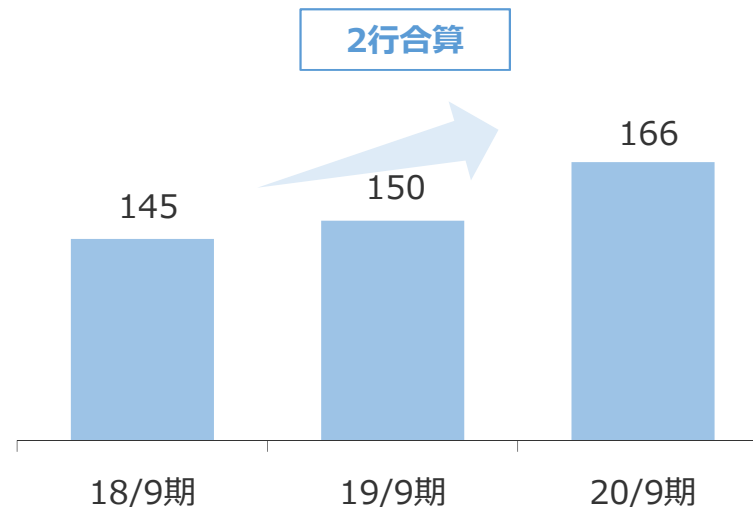
- 法人向けビジネスポータルサービスの導入
- オンラインセミナーの実施
- オンラインツールを活用した面談



事業性貸出残高（末残・億円）



M&A、事業承継、コンサル成約件数



総合金融グループとして、お客さまのライフステージに応じたトータルソリューションを提供

■ 非対面チャネルの強化

- ・WEB専用投資信託ラインアップの充実
- ・資産運用オンラインセミナーの開催

2行合算	開催数	受講者数
資産運用オンラインセミナー	29回	2,584名



顧客利便性の向上

推進体制の整備

商品の整備

■ 顧客本位の業務運営の実践

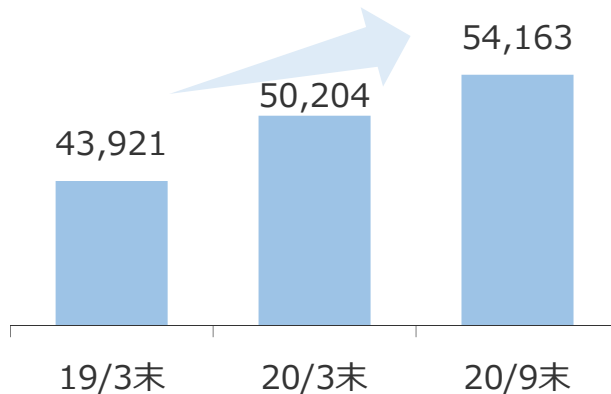
- ・お客さまのリターンの改善に向けた取り組み～長期・分散・積立を基本とした運用提案～
- ・ライフステージに合わせた資産形成提案
- ・資産運用・承継などのニーズに対し、ワンストップでサービスを提供

- 資産形成～資産承継に至るまで多様な商品をラインアップ
- 無担保ローンの商品内容の見直し
(団体信用生命保険付き無担保ローンのWEB申込み開始)



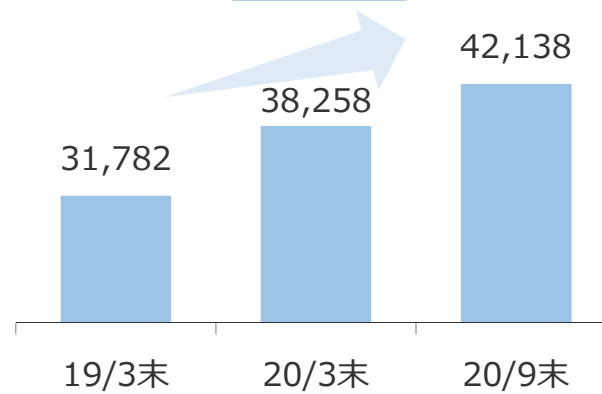
平準払保険 契約先数

2行合算



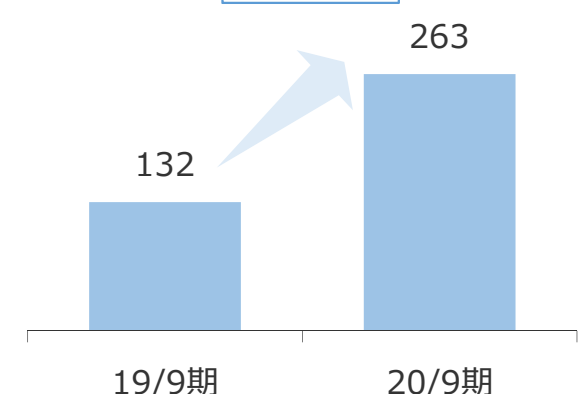
積立型投資信託 先数

2行合算



信託取扱件数 (取次を含む)

2行合算



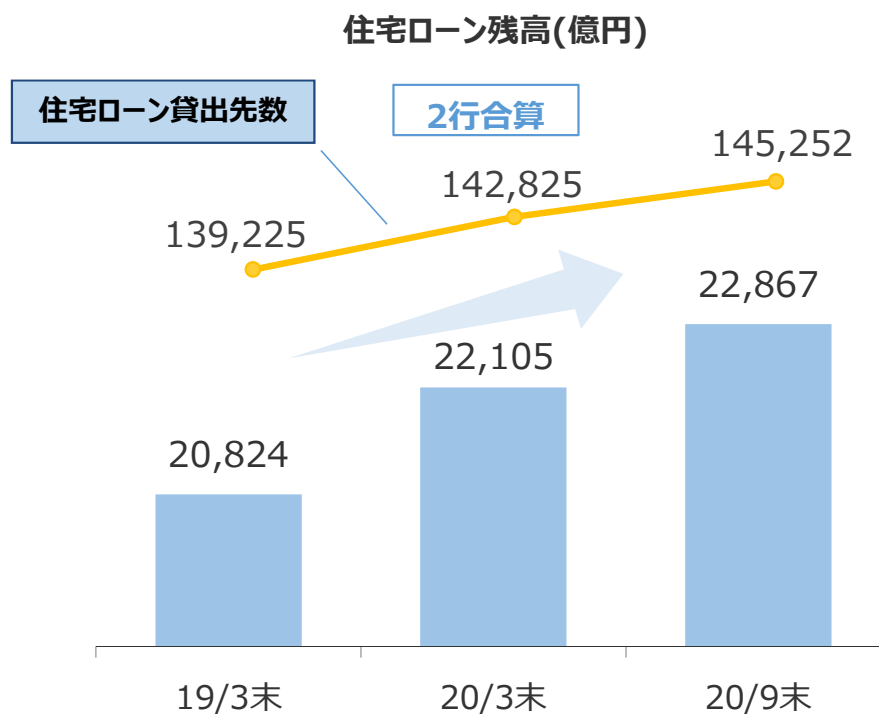
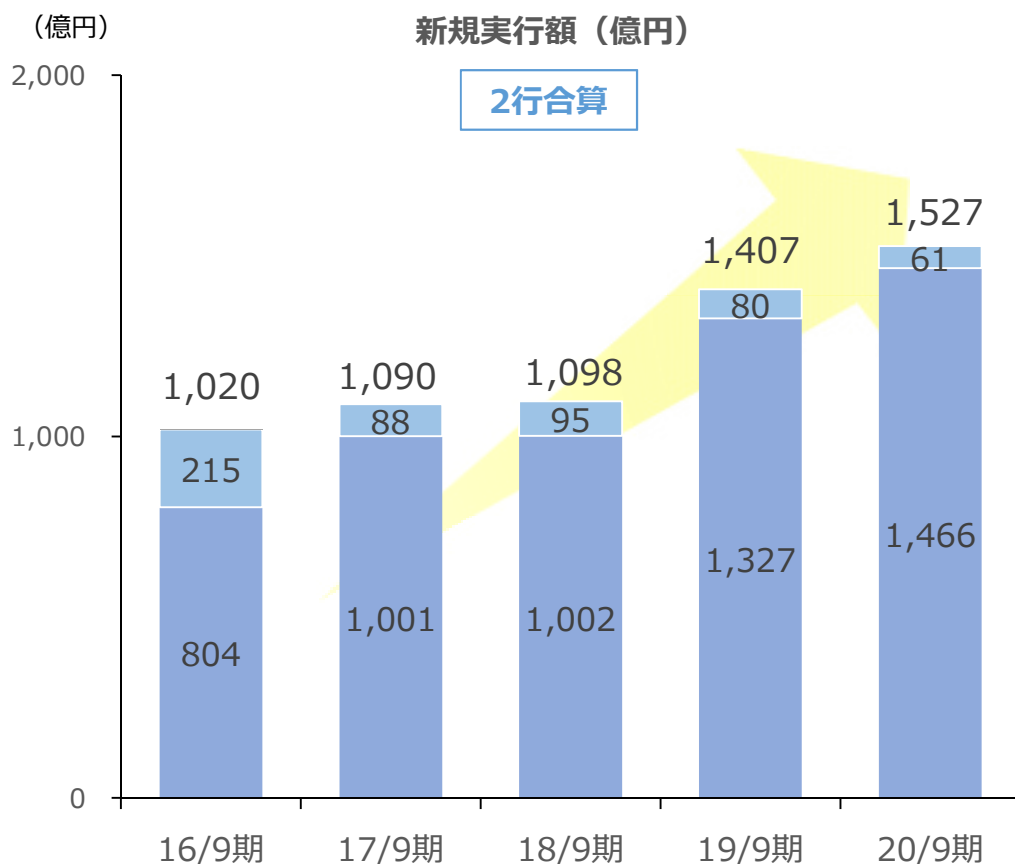
住宅ローンの商品性・利便性の向上を図り、上期の新規実行額は過去最高を更新

住宅ローン 新規実行額

商品性・利便性向上により、住宅ローンの新規実行額は増加傾向となっております。コロナ禍においても遠隔相談窓口など非対面サービスも活用し、お客さまのニーズにお応えしてまいります。

商品性・利便性向上に向けた取組み

- ・電子契約サービスの取扱い（2019/12～）
- ・八大疾病保障付き夫婦連生団体信用生命保険の取扱い（北陸銀行：2020/1～）
- ・前払保証料の撤廃（北海道銀行：2020/4～） など



非対面サービスの拡充を通じてお客さまの利便性向上へ

ビジネスマッチングシステムの共通化

北陸銀行と北海道銀行のお客さまのビジネスマッチング情報を相互共有できる「ほくほく連携ビジネスマッチング」の仕組みを整備しました。これにより、お客さまは自社の案件を当社グループが営業展開する広域なエリア内に発信することが可能となりました。

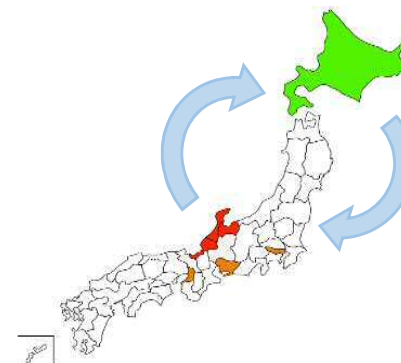
「ほくぎんビジネスポータル」の導入（北陸銀行）

⇒ お客さまとの新たなコンタクトポイント（接点）の創出

「情報提供」、「電子交付」、「Web受付・相談」、「ID連携」の4つの新機能により、Web上で完結できるサービスを拡充しました。

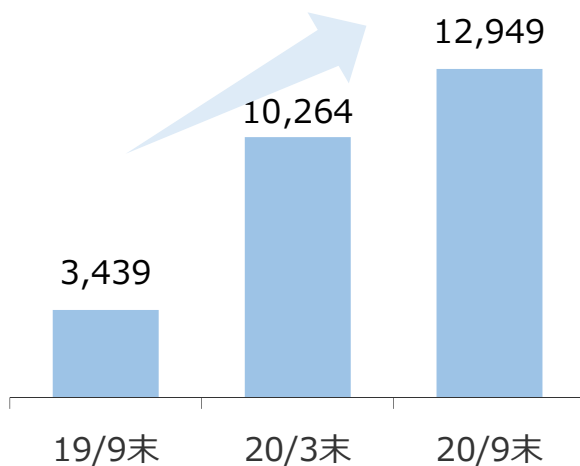
タブレット端末を活用した『預かり物件管理システム』を導入

お客さまの利便性向上、厳格・明確な管理、事務運営の効率化を目的として、タブレット端末を活用した「預かり物件管理システム」を導入し取り扱いを開始しました。



キャッシュレス加盟店（※1）数

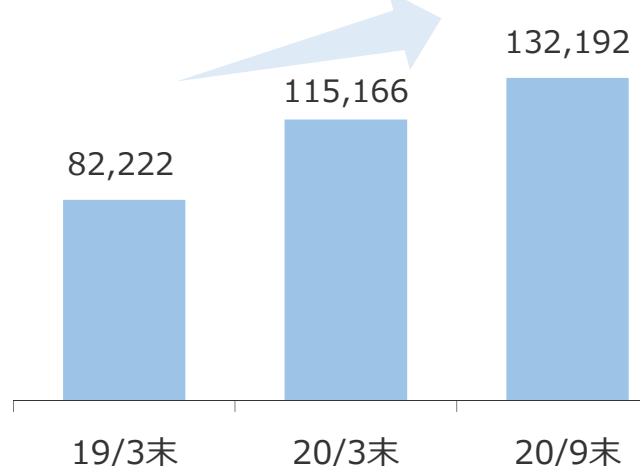
2行合算



（※1）ほくほくPay、J-Coin Payの加盟店舗数

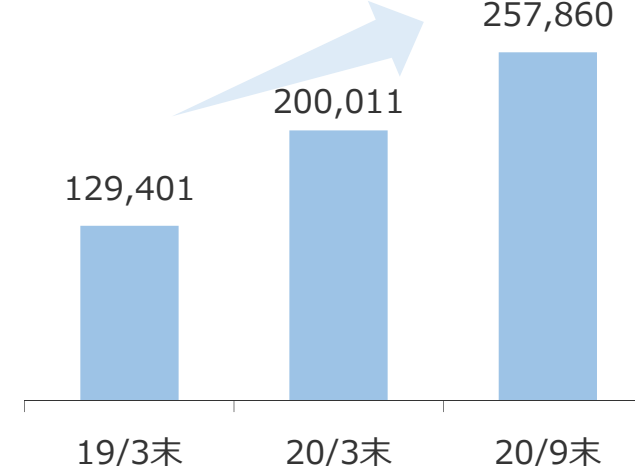
無通帳口座保有先数

2行合算



スマホアプリ利用先数（※2）

2行合算



（※2）両行のスマホアプリをインストールかつログイン
いただいているお客さまの先数

持続可能な地域社会の実現

- ・環境省「ESG地域金融促進事業」への参加
- ・日本M & Aセンターの「バンクオブザイヤー」、「地域貢献大賞」を受賞(北陸銀行)
- ・「地方創生に資する金融機関などの『特徴的な取組事例』」で大臣賞を受賞(北海道銀行)
- ・地方創生に関する包括連結協定締結
 - 明治安田生命保険と協定締結 (北陸銀行)
 - 月形町との協定締結 (北海道銀行)



すべてのお客さまにとっての利便性向上

- ・団体信用生命保険付き無担保ローンのWEB申込み開始
- ・法人向けポータルサイト「ほくぎんビジネスポータル」を導入 (北陸銀行)
- ・個人向けインターネットバンキングサービスリニューアル

地域活性化
戦略

生産性向上に繋がる職場づくり

- ・「健康経営優良法人2020大規模法人部門(ホワイト500)」の認定
- ・ダイバーシティの推進
- ・RPAで業務改革を推進

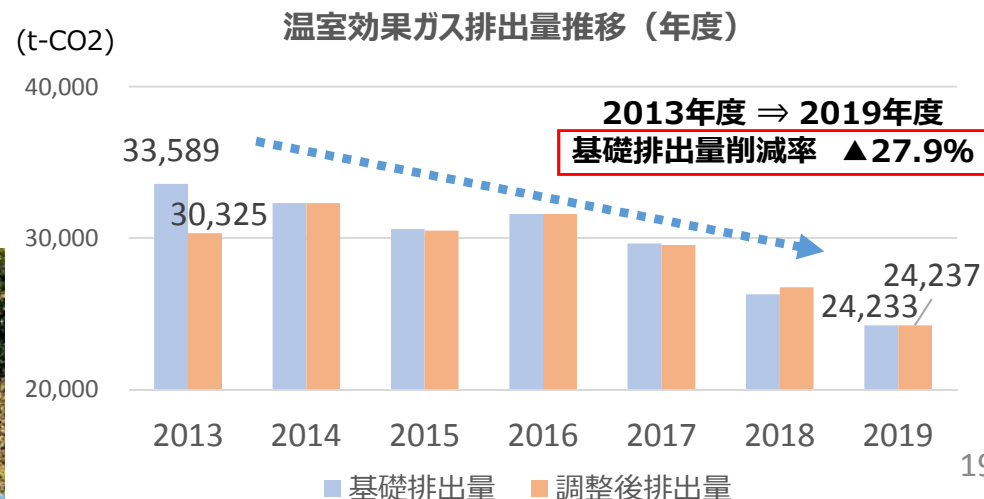


地域社会の課題

少子高齢化
人口減少
都市部一極集中

環境問題に向けた取組み

- ・タブレット等の活用によるペーパーレス化
- ・環境に配慮した営業車の導入
- ・環境保護活動への参加
- ・省エネ設備の導入



持続可能な地域社会の実現

環境省「ESG地域金融促進事業」への参加

北陸銀行および北海道銀行が、環境省が実施する「令和2年度ESG地域金融促進事業」の支援先機関として採択されました。

【北陸銀行】

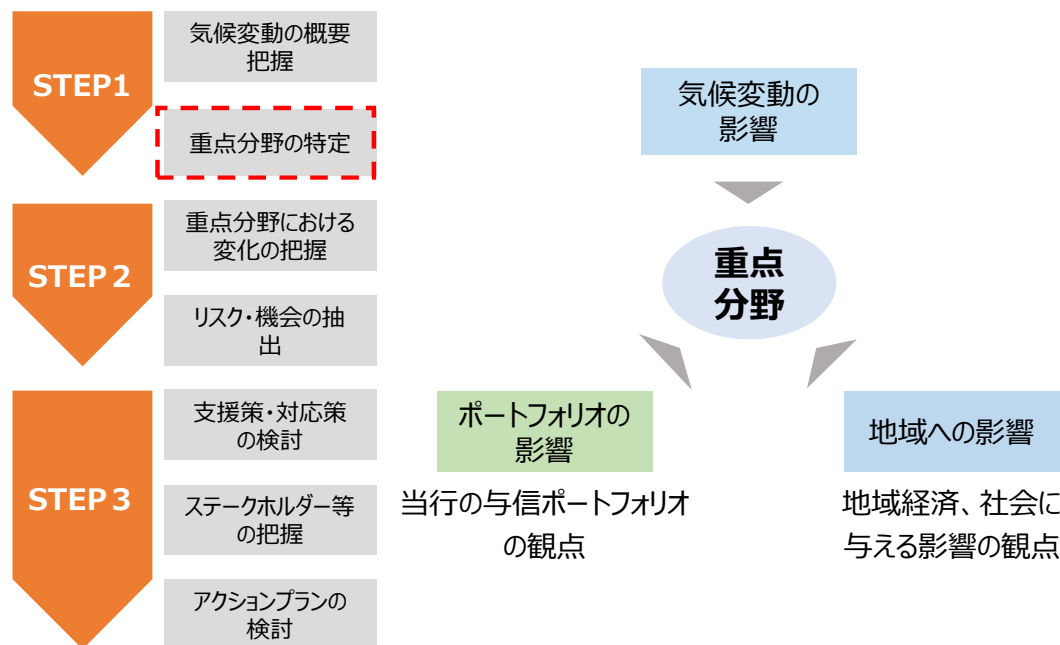
採択テーマ

移行リスクへの取り組み

『気候変動関連に対する地域金融機関としての顧客への支援体制の確立』

狙い

地域への影響度及び当行のポートフォリオを踏まえた気候変動関連における重点分野に対して地域金融機関としての支援策・対応策の検討



【北海道銀行】

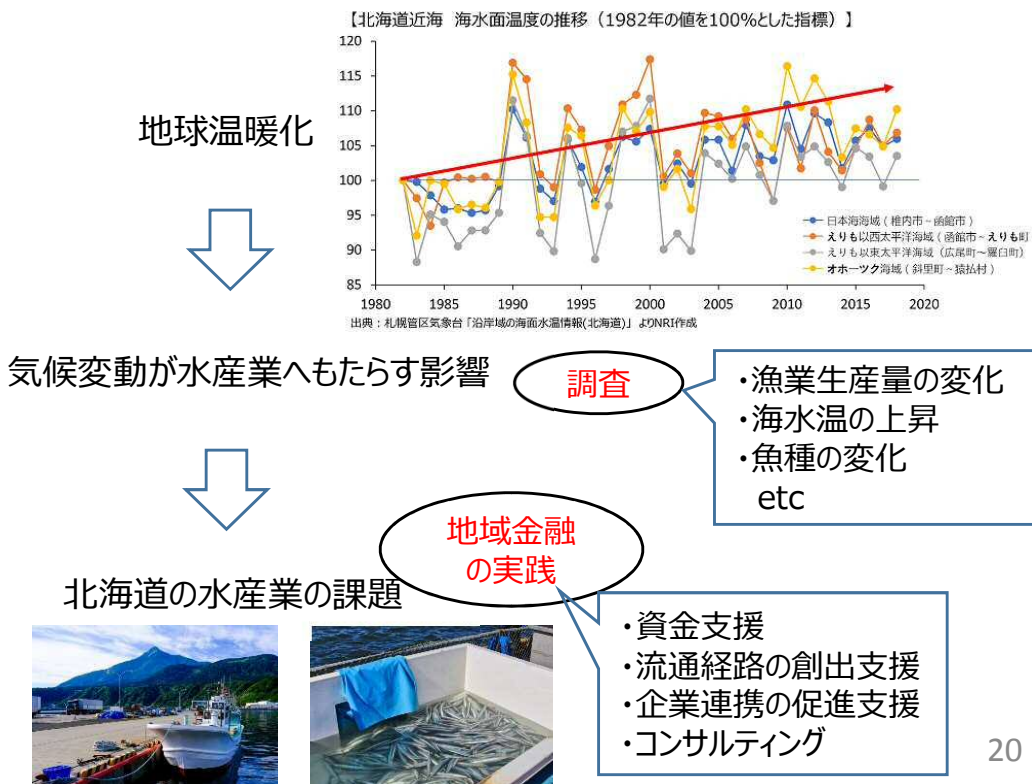
採択テーマ

物理的リスクへの取り組み

『気候変動を踏まえた北海道の水産業にかかる地域金融の実践について』

狙い

気候変動が水産業にもたらす影響を調査し、業界のサプライチェーンの影響評価等を通じて、持続可能な水産業のビジネス構築支援にかかる知見構築および支援体制構築に取り組む。



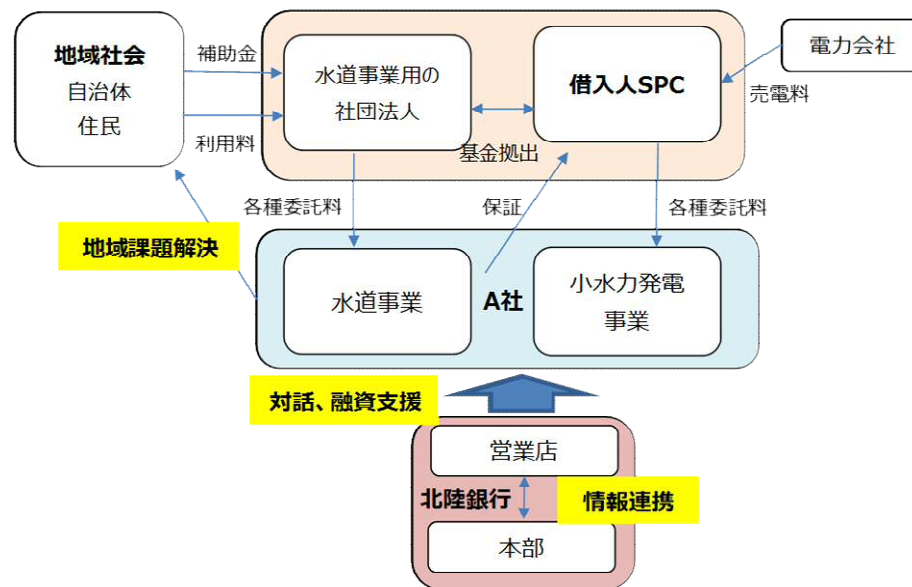
持続可能な地域社会の実現

地域貢献のための小水力発電 & 水道事業PJ（北陸銀行）

地域社会が抱えるインフラ維持などの課題に対し、北陸銀行にて、持続可能な水資源管理、水インフラ支援に寄与する融資支援を実施しました。

本部・営業店が一体となり、地域が抱える課題に対し、お取引先・自治体と連携することで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【ステークホルダーのイメージ】



農水産業の6次産業化支援による地域活性化（北海道銀行）

北海道銀行が出資を行った合同会社OMEGAファーマーズが製造した道産原料による高純度の食用オイルをクラウドファンディングサービス「Makuake」を通じて先行限定販売しました。

クラウドファンディングサービスを活用



1次 × 2次 × 3次 = 6次産業化 (高付加価値化の経営支援)

生産性向上に繋がる職場づくり

グループ全体で業務の合理化・効率化を徹底することで、生産性向上を通じた人的資源の効率的な配置、時間外労働の削減、ワーク・ライフ・バランスの充実等を推進しております。

■ 店舗運営の見直し

お客さまの利便性を維持しつつ、効率的な店舗運営を図る

店舗数(2行合算)	16/3末	17/3末	18/3末	19/3末	20/3末	20/9末
国内店舗数 (A)	329	328	329	330	332	332
店舗内店舗等 (B)	25	31	37	42	48	49
実質店舗数 (A-B)	304	297	292	288	284	283
営業時間弾力化(昼休み等)の実施店舗数	0	0	7	28	42	111

■ ダイバーシティの推進

ダイバーシティに関する認定取得、各種取り組み

【北陸銀行】

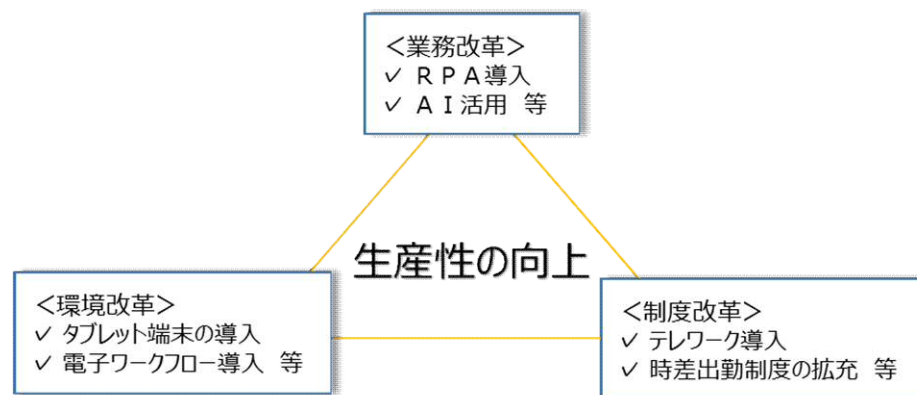
- 2016年 富山県内初となる厚生労働省「プラチナくるみん認定」取得
- 2016年 「北陸銀行イクボス宣言」実施
- 2018年 - 2020年 経済産業省「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得
- 2020年 女性活躍に関する厚生労働省「えるぼし認定(3段階)」取得

【北海道銀行】

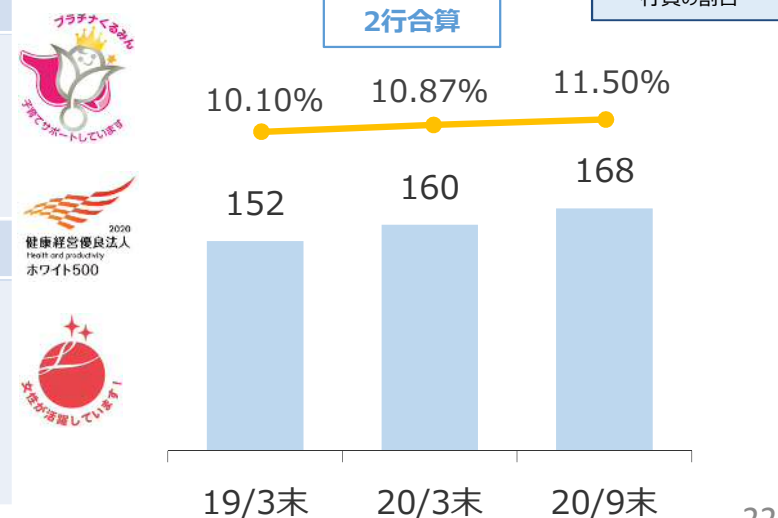
- 2012年 行内託児施設「どさんこKid's Room」開設
- 2018年 「札幌市ワーク・ライフ・バランスplus企業認証」取得
※ワーク・ライフ・バランスおよび女性活躍に積極的な企業認証
- 2018年 - 2020年 経済産業省「健康経営優良法人(ホワイト500)」認定取得
- 2020年 厚生労働省「くるみん認定」取得

■ 働き方改革の推進

業務の合理化・効率化を徹底することで、生産性の向上を図る



女性経営職・管理職数



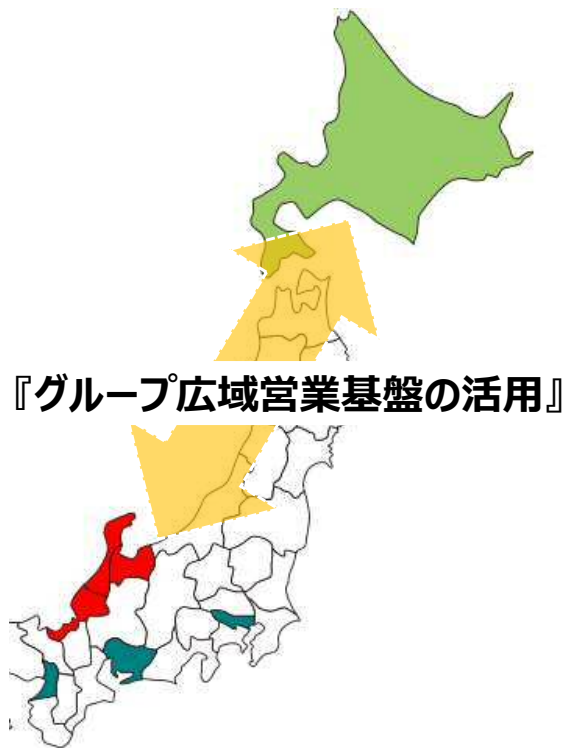
ほくほく連携の強化

■ グループ連携の強化・拡大

北陸銀行・北海道銀行を中心としたグループ広域営業基盤を活かし、お客さま同士を繋げる広域ビジネスマッチングや協調融資などに積極的に取り組んでおります。

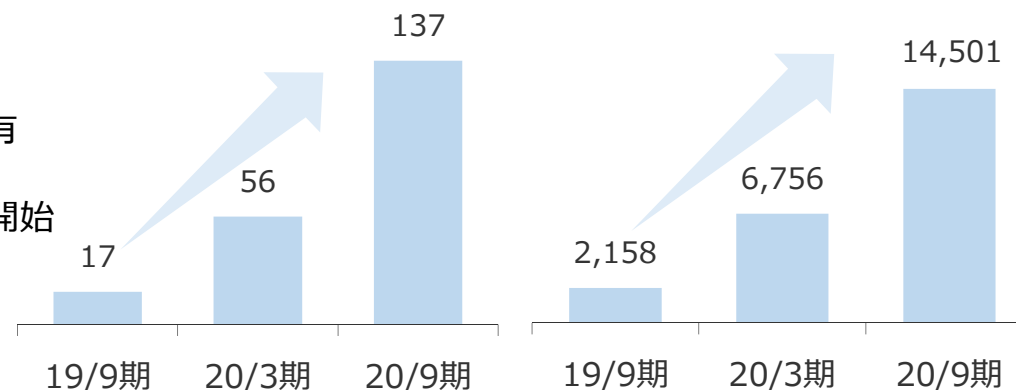
■ 連携強化を目的とした体制整備

- ビジネスマッチングシステムの共通化
- 道内営業店間の連携強化を目的とした連携会議の実施
- 両行国際部と両行海外駐在員事務所のビジネスマッチング情報共有
- コンサルツールの共同活用
 - ー北海道銀行から北陸銀行へのコモデティデリバティブニーズの紹介開始
 - ー北海道銀行アグリビジネスコンサル機能の共同活用



ほくほく連携(※)実績(件)

連携融資実行額 (百万円)



(※) 2行が連携し、お客さまの課題解決に資する取組み
(協調融資、ビジネスマッチングなど)

■ 外国為替事務3行共同化開始

北陸銀行、北海道銀行の外国為替事務センターを横浜銀行事務センターの拠点へ集約し、事務の3行共同化を開始

共同化により、一層の事務合理化・効率化を追求し、3行の事務コスト削減やノウハウ共有の効果が見込まれます。

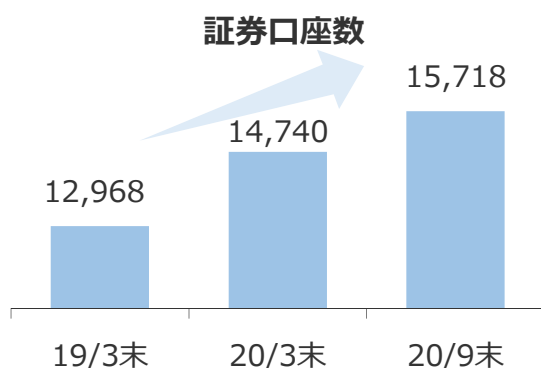


総合金融グループとしての金融サービスを提供

ほくほくTT証券

・銀証連携による総合提案

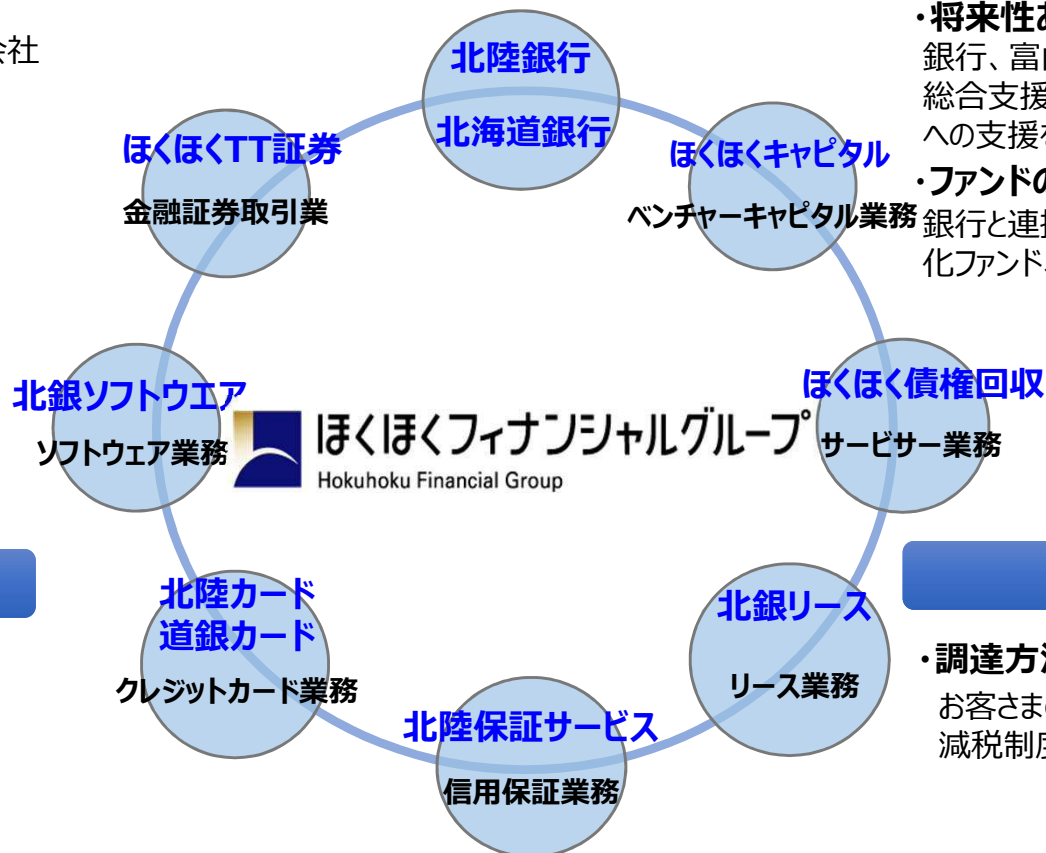
銀行より紹介を受けたお客さまへ証券会社としての総合提案を実施



ほくほくキャピタル

・**将来性ある地元ベンチャー企業への投資**
銀行、富山県と連携し、「元気とやま中小企業総合支援基金」を活用した地元ベンチャー企業への支援を強化

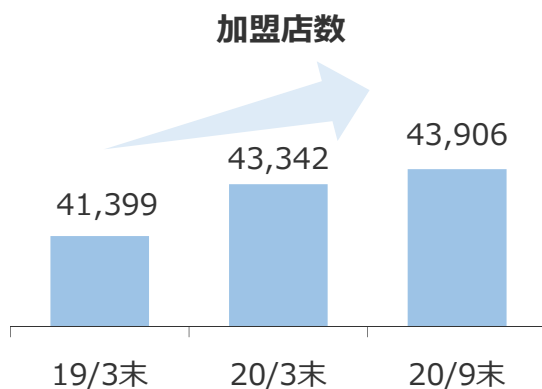
・**ファンドの推進**
銀行と連携し、ほくほく応援ファンド、六次産業化ファンド、アグリ育成ファンドの推進を強化



北銀カード・道銀カード

・キャッシュレス化推進連携

銀行のキャッシュレス化推進と連携し、加盟店取引を拡大



北銀リース

・**調達方法の最適化に向けた総合提案**
お客さまの調達の幅を広げるため、補助金や減税制度等も活用した総合提案を実施

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:寺田・谷口)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:info@hokuhoku-fg.co.jp

<https://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。